

R4年度 全国学力・学習状況調査 結果分析（高蔵寺中学校）

国語

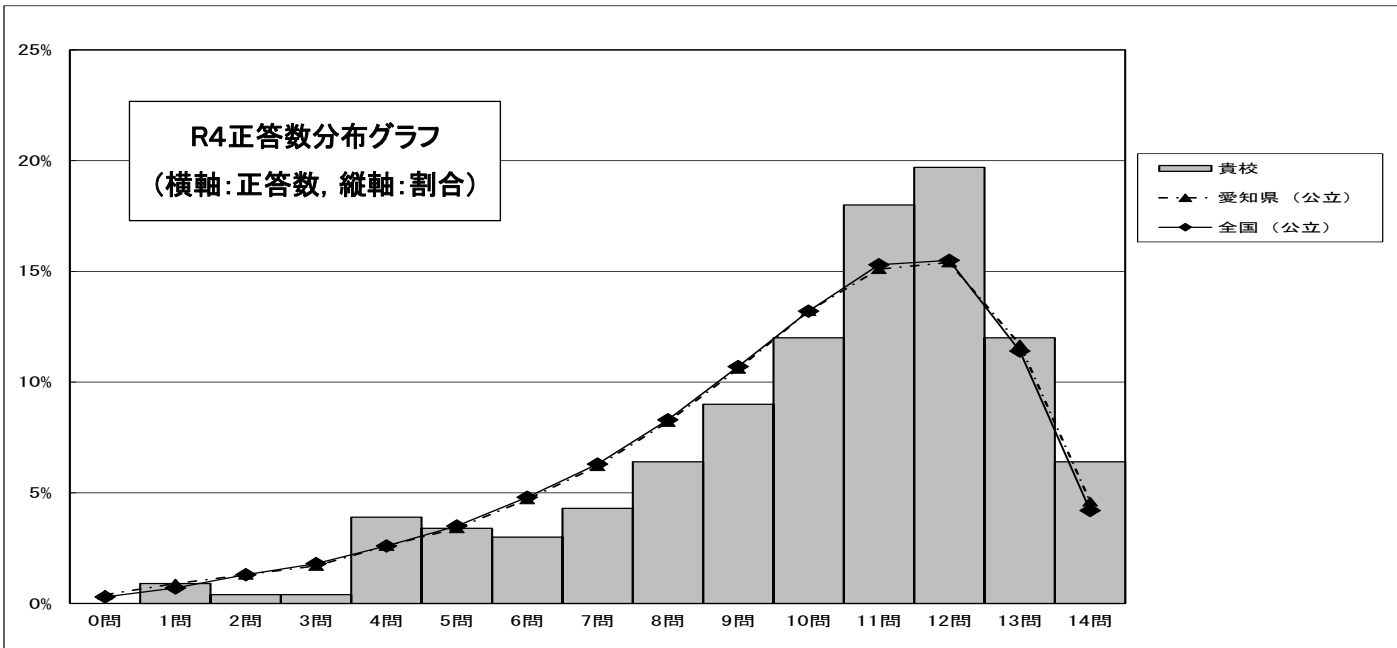
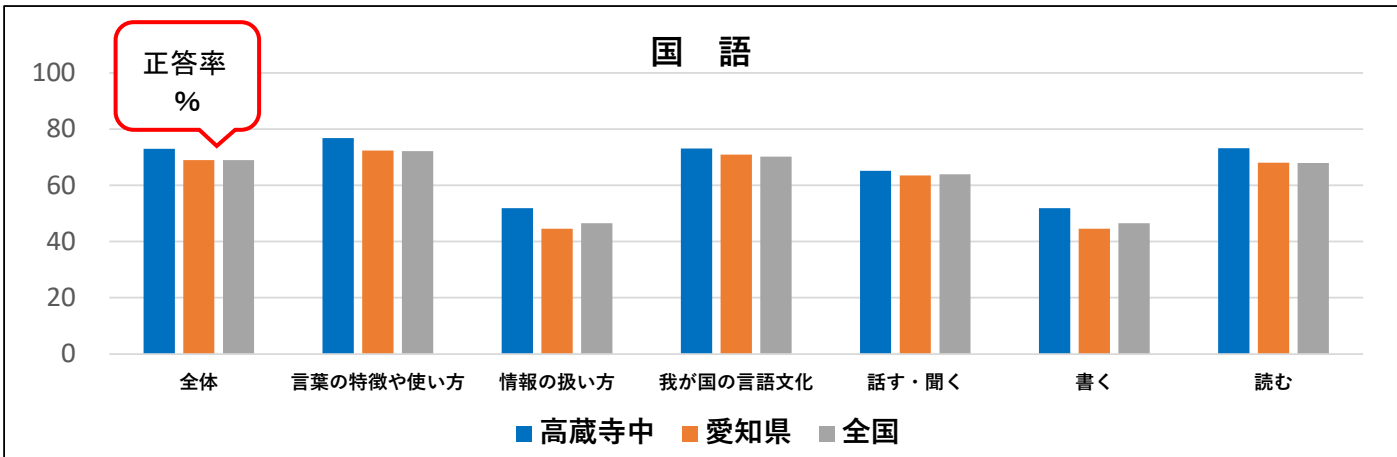
・今年度の結果を見ると、全国平均と愛知県が同レベルの結果であるのに対し、本校はそれを上回る結果となった。

＜傾向と課題＞

・思考・判断・表現の観点中の「書くこと」「読むこと」はとても高いレベルにある。一方、「話すこと・聞くこと」が若干弱い傾向があることがわかった。

→ 国語はもちろん、他教科においても対話やプレゼンテーション等のアウトプットトレーニングが大切となる。この傾向は R3、R1 年度の時にも見られたことから、今後の指導の中で特に意識しておく必要があると考える。

	平均正答率 (%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
全体	73	+4.0	69	69.0
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76.8	+4.6	72.4	72.2
(2) 情報の扱い方に関する事項	51.9	+5.4	44.5	46.5
(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.1	+2.9	70.9	70.2
A 話すこと・聞くこと	65.2	+1.3	63.5	63.9
B 書くこと	51.9	+5.4	44.5	46.5
C 読むこと	73.2	+5.3	68.0	67.9



数学

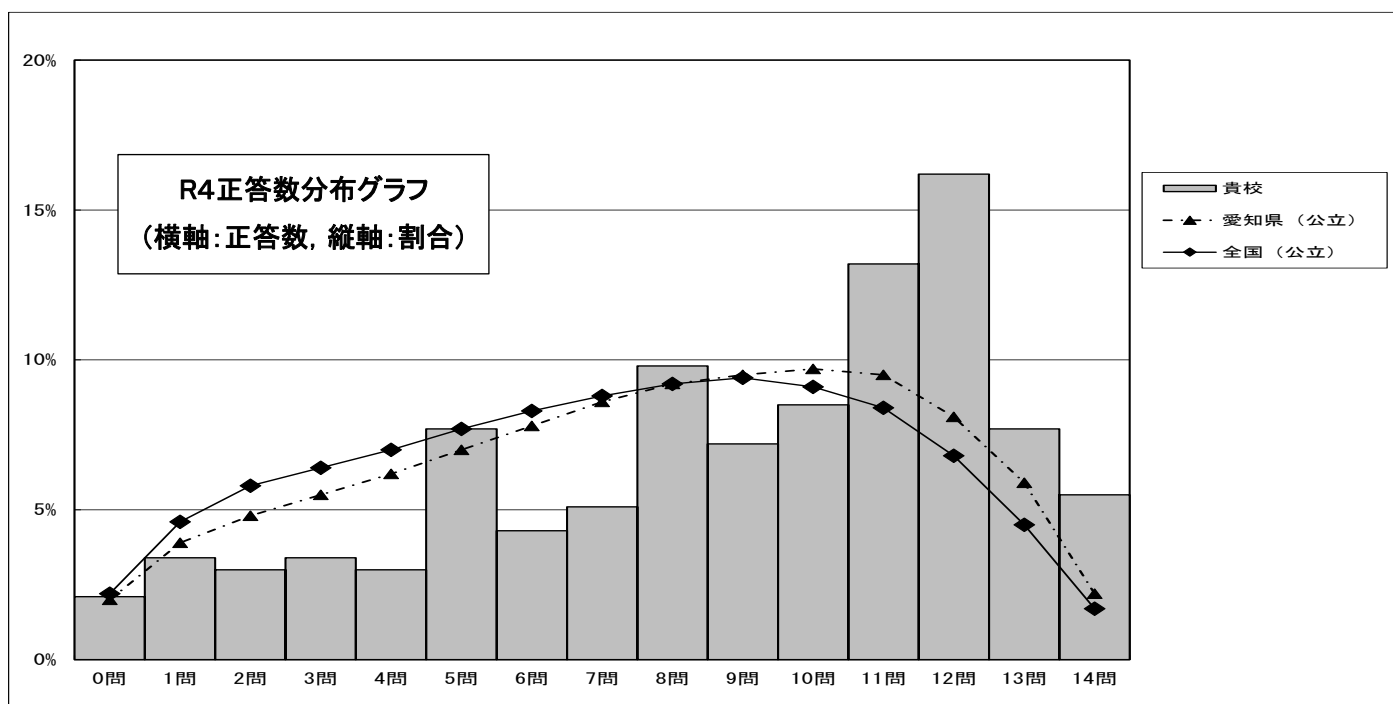
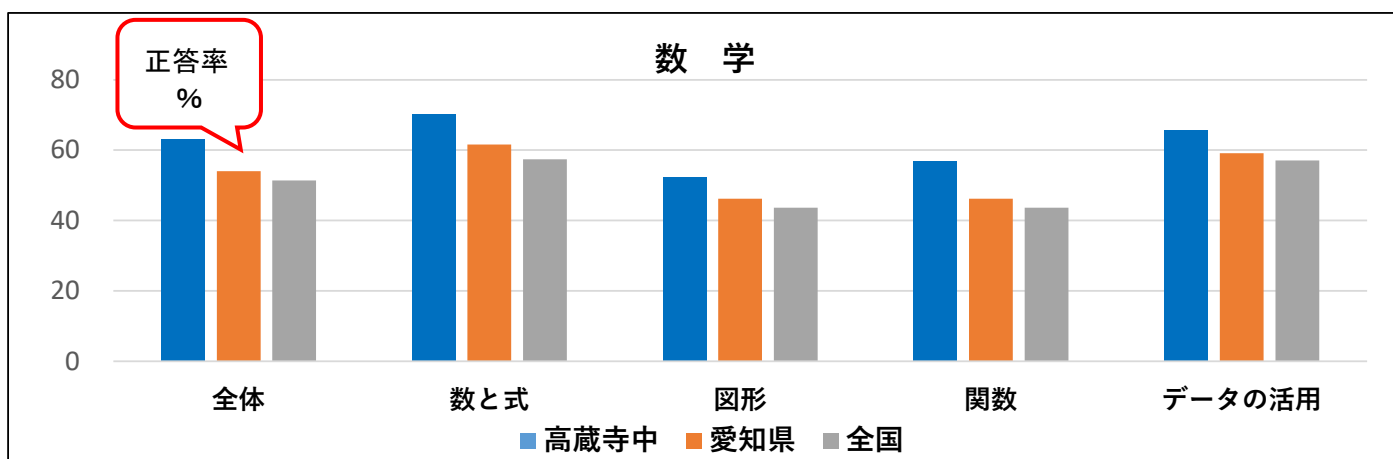
・愛知県平均は全国平均を上回り、本校はさらに大きく全国平均を上回る結果となった。

<傾向と課題>

・「数と式」「関数」の領域は非常によくできている。次いで、「図形」「データの活用」がよくできており、全国的に見れば自信をもって良いと考える。

→ 改善点：図形の領域では、「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」というという趣旨の問題が最も苦戦した者が多く、無解答率が24.7%にのぼったことがわかった。また、データの活用の領域では、「確率の意味を理解している」という内容の問題で伸び悩む結果となった。これらの領域へのフォローを指導の中で行っていきたい。

	平均正答率(%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
全体	63	+11.6	54	51.4
A 数と式	70.2	+12.8	61.6	57.4
B 図形	52.3	+8.7	46.2	43.6
C 関数	56.7	+13.1	46.2	43.6
D データの活用	65.8	+8.7	59.1	57.1



理科

- ・愛知県平均ならびに本校の結果も全国平均を上回る結果になった。
- ・数学につづき、理科についても理解を深めている生徒が多いという結果となった。

<傾向と課題>

・「エネルギーを柱とする領域」「地球を柱とする領域」はよくできている。一方、「粒子を柱とする領域」に若干課題が残る結果となった。

→ 改善点：特に「水素の化学変化とエネルギーとの関係」に関する問いで、化学変化の基礎は押さえられているが、将来的に水素社会を迎えるにあたり、化学エネルギーから電気エネルギーへの変換についての理解がまだ十分とは言えないことがわかった。今後の指導では、領域内の知識を結び、領域を越えた理解へとつなげていきたい。

	平均正答率(%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県(公立)	全国(公立)
全体	55	+5.7	51	49.3
「エネルギー」を柱とする領域	48.2	+6.3	44.1	41.9
「粒子」を柱とする領域	52.4	+1.5	52.0	50.9
「生命」を柱とする領域	63.3	+5.4	59.4	57.9
「地球」を柱とする領域	50.6	+6.3	46.0	44.3

